

5分でわかる自動車事故事例 No.13

高齢者の電動アシスト自転車の 出会い頭事故

高齢者の自転車運転、特に「電動アシスト自転車」はより慎重な運転が必要です！

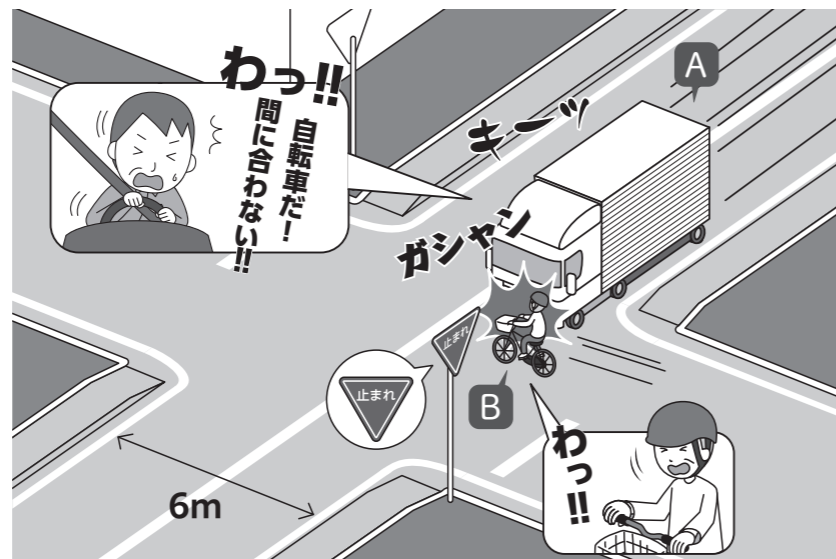
事例プロフィール

事故類型：出会い頭事故
発生日時：平日 午前中

Aさん
中型トラック
50歳代男性



Bさん
電動アシスト自転車
80歳代男性



事故の概要

Aさんの状況

Aさんは往復2車線の優先道路を直進していました。閑散としていたこともあり、速度規制の時速50kmを超過した時速約60kmで運転していました。交差点を通過する際、Bさんの自転車が一時停止をせずに進入してきたことに気づき、ハンドルを右に切りながら急ブレーキをかけたが間に合わずBさんの自転車と衝突しました。

Bさんの状況

Bさんは毎日のように電動アシスト自転車を利用していました。慣れた道でもあるため、往復1車線の一時停止規則のある交差道路を、交差点手前で一時停止することなく交差点に進入しAさんの車両と衝突しました。

事故から学ぶ

Aさんは速度規則を守っていなかったため、Bさんの急な飛び出しに対応出来ず衝突してしまいました。事故を未然に防ぐためには、優先道路を走行していたとしても交通規則を厳守し、特に交差点にさしかかる前には交差道路からの車両の動きに注意して安全確認をすることが大切です。

Bさんはどんなに日常通り慣れた道でも一時停止規則を厳守し、確実に停止して左右の交通状況を確認した上で横断する習慣が身につけば、事故を回避できたかもしれません。また、加齢とともに身体機能は衰えていくため、若い時と同じ感覚で自転車を乗用していると事故の危険性は高くなります。電動アシスト自転車は、自分の体力・感覚以上にスピードが出やすくなるため、より慎重な運転が必要です。

(出典) 公益財団法人 交通事故総合分析センターの資料をもとに、ユニバーサルリスクソリューション(株)が作成

5分でわかる自動車事故事例 No.14

安全確認を怠った普通乗用車と 二輪車の事故

幹線道路の交差点以外での右折は、自分で安全確認を行い事故を防ごう！

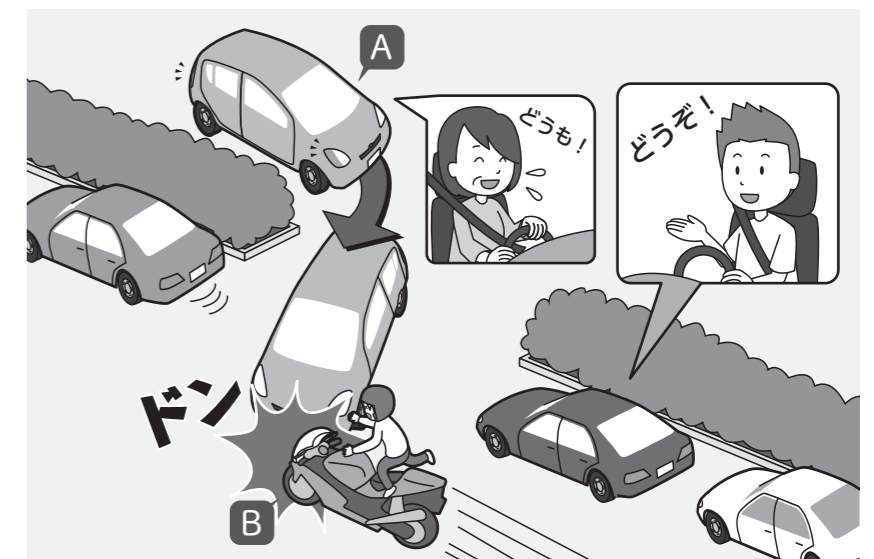
事例プロフィール

事故類型：右直事故
発生日時：朝 通勤時間帯

Aさん
普通乗用車
50歳代女性



Bさん
自動二輪車
20歳代男性



事故の概要

Aさんの状況

Aさんは片側二車線の中央分離帯のある幹線道路を走行しています。この車線には先行車も後続車もいません。対向の第二車線は渋滞していて車はノロノロ走行しています。Aさんは反対車線側の駐車場に向かう為、中央分離帯の切れたところで方向指示器を点滅させながら一旦停止しました。

対向車線の車はAさんの車両を見ると停車して、右手をあげて「どうぞ!」と合図を送ってきたのでAさんは左手をあげて合図を送ってから右折を開始しました。対向車線の第一車線にさしかかった時、直進してきたBさんの車両と衝突しました。

Bさんの状況

一方、Bさんは通勤で毎日利用している道路で、中央分離帯の切れている地点は注意ポイントだと認識しています。いつものようにスピードを落として走行していましたが、Aさんの車両が突然車の陰から出てきたので、回避するまもなく衝突しました。

事故から学ぶ

Aさんが対向車が来るか来ないかを確認せずに右折を続けたのが原因です。道を譲ってくれたので、一気に右折して駐車場へ入場しようとした。道を譲った車は「停止してAさんを行かせようと思っただけ」であって、第一車線の安全を保証したわけではありません。

止まってくれた車の前を右折するときには「早く行かなくてはい」と考え、安全確認を怠ってしまいがちですが、何よりも自分で安全確認することが最優先です。

最終的に進行して良いと判断するのは運転している本人です。

(出典) 公益財団法人 交通事故総合分析センターの資料をもとに、ユニバーサルリスクソリューション(株)が作成